

2017年度 第1回日本社会福祉学会関東地域部会運営委員会議事録

日時：2017年6月12日（月）18:30～20:30

場所：明治学院大学白金キャンパス 本館地下1階 社会学部附属研究所会議室

出席者：（敬称略）：■出席、□欠席

■久保美紀 ■大島巖 ■高山直樹 □荒井浩道 □ 稲垣美加子 ■今泉礼右

■岡田哲郎 □小野孝嘉 □北本佳子 □金成垣 □小林理 □佐藤信人 □眞保智子

■田嶋英行 □豊田宗裕 □贅川信幸 □林浩康 □菱沼幹男 □保正友子 □室田信一

■山口麻衣 □山田知子 □六波羅詩朗 ■渡邊浩文 ■耕田昭子（事務局）

報告：

1. 2016年度関東部会研究大会について

日 時：2017年3月11日（土）

テーマ：「当事者固有の文化にもとづいた社会福祉の構築」

会 場：明治学院大学白金キャンパス

参加者数：約120名（事務局スタッフ含）

大会プログラム

1)自由研究報告（9:30～11:40）

○23報告（研究報告部門19報告、萌芽的研究報告部門3報告、実践報告部門1報告）

2)基調講演 (13:00～14:00)

「目の見えない人は世界をどう見ているのか - 身体論から考える障害 -」

講師：伊藤 亜紗 氏 (東京工業大学リベラルアーツ研究教育院)

3)シンポジウム (14:10～17:00)

○テーマ：「当事者固有の文化にもとづいた社会福祉の構築」

○シンポジスト：本間 照雄 氏 (東北学院大学)

ヴァーグ ヴィクトル 氏 (日本社会事業大学)

コメンテーター：月田 みづえ 氏 (昭和女子大学)

コーディネーター：田嶋 英行 氏 (文京学院大学)

4)総会・関東部会研究大会奨励賞授与式 (17:00～17:30)

○関東部会研究大会奨励賞受賞者：該当者なし

5)懇親会 (18:00～)

2. 理事会報告

5月27日に理事会が開催された。なお、地域ブロックにかかわることはなかった。

3. 各部会活動報告

運営委員会を4回開催予定。

各部会は、大会担当、広報委員会、編集委員会の3つで活動していく。

研究大会は、今年度も開催に向けて検討、準備をしていく。

4. 編集委員会

投稿数の増加に伴い、編集委員を中心として運営委員全員で対応している。

2016年度より、事務局業務を国際文献社に委託している。

16号（2016年：）論文5本、 17号（2016年）：論文2本

18号（2017年）：論文2本（2017.4現在） それぞれ刊行済み

5. 広報活動

○HPの担当：荒井先生

1日に150件程度のアクセスがある。

○メールマガジン担当：岡田先生

関東部会会員に2016年度に2回（12月に大会案内、3月の大会直前にプログラムの案内）配

信

○ニューズレター

2016年度は事務局が担当し、1月20日に会員に発送

6. その他

・2016年度事業報告（2016年4月～2017年3月）

・2017年度事業計画（2017年4月～2018年3月）

上記を日本社会福祉学会事務局に提出済み。

議題：

1. 2017年度の運営委員、監事、経理担当者、その他の役割分担（敬称略）

別紙運営委員会名簿を参照し、役割分担等を確認した。

理事 久保美紀

監事 大島巖

経理 高山直樹

事務局 耕田昭子（明治学院大学）

新任 稲垣美加子 ← 山下興一郎（淑徳大学）

退任 月田みづえ（昭和女子大学）、丸山晃（東洋大学）

なお、下記の委員以外は2016年度の役割を継続することになった。

稲垣先生 広報委員（ニュースレターを担当していただく）

小野先生 大会担当（研究大会奨励賞を担当していただく）

－以上、承認。

2. 各部会の事業計画

1) 広報委員会（ホームページ、メールマガジン、ニュースレター等）

岡田先生より、流れとしてはHPで更新したものをメールマガジンで配信していく。

2) 大会担当委員会

研究大会の日程、テーマ等については、大会担当委員で検討し、次回の運営委員会に提案する。

詳細については、11月開催予定の第3回運営委員会で決定する。

大会の日程については、3月18日を第一候補、次の候補を3月3日あるいは、4日とし、場所は明治学院大学とすることとなった。

3) 研究大会奨励賞

大会担当で検討し、詳細は、11月開催予定の第3回運営委員会で提示する。

4) 『社会福祉学評論』について

(1)2016年度受付分：13本

2016年6月末締切分：1本

2016年9月末締切分：3本

2016年12月末締切分：5本

2017年3月末締切分：4本

・2015年度までの受付分については、すべて査読終了。

(2)投稿論文の取り扱い手順について、確認がなされた。

・執筆要項を一部修正し、HPにアップする。

・査読・編集の過程について確認がなされた。

7. 今後の委員会予定

運営委員会

第2回運営委員会（例年8月あるいは9月）

第3回運営委員会（例年11月）

第4回運営委員会（研究大会時）

大会担当委員会

第1回大会担当委員会（例年10月）

第2回大会担当委員会（例年2月）

第2回運営委員会、第1回大会担当委員会については、別途日程調整をすることとなった。

記録：事務局